

第二地連新聞



発行責任者	地連議長
編集責任者	第二地連教宣部
発行所	東京清掃労働組合第二地連
発行日	2025年01月6日
発行部数	第95号



【2025年 年頭にあたつて】

2025年、新年おめでとうございます。
第二地連内の組合員とご家族の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶びを申し上げます。
年末年始作業においては、各職場で作業された組合員の皆様に心から感謝いたします。
24賃金確定闘争では、全ての級・号給での引上げ、一時金の支給月数増の引上げ勧告を勝ち取りましたが、中高年齢層においては、今次の物価上昇等に追いつかない月例給の引上げとなり、不満が残りますが苦渋の判断をしてきました。
「魅力ある賃金・人事制度」の構築は、今後の交渉がより重要になります。本部交渉はもとより、各区・地連からの追い上げもさらに強化し、我われが望む制度を確立しなければなりません。
地連として5年ぶりにボウリング大会、一泊学習会を開催し、昨年に引き続き釣り大会、バーベキュー大会のレクリエーションを行いました。参加人数含めて多くの組合員・家族が集まり、成功裡に終了してきました。
今年も一泊学習会やボウリング大会をはじめとしたレクリエーション等、「学習と交流」を基軸に運動を進めていきます。

私たちを取り巻く情勢は、車付き雇上の拡充や退職者不補充の関係で会計年度任用職員の対応等となっている厳しい状況にあります。

昨年、荒川区・北区・文京区・台東区で新規採用を勝ち取ることができました。これはこの間の、職場からの闘い成果であります。単年で終わらせるのではなく、地連内全支部で継続的な新規採用を勝ち取って行くことが、住民生活に密着した質の高い公共サービスができます。

第二地連として、地連内各支部の情報の交換・共有化をはかり、地連の組織強化、働く者の生命と権利、生活を守り、定年まで安心して働き続けられる職場を確立していかなければなりません。その為にも、4区5支部（北工場建替え中）が一九となり、様々な取組みをしていきます。

最後に、今年は巳年です。第二地連の運動が巳（実）を結ぶ充実の年となるように活動をしていきます。組合員・ご家族のご協力をお願いします。
今年一年どうぞよろしくお願いします。

第二地連議長
台東支部
原田輝高



【荒川支部】

新年あけましておめでとうございます。

荒川支部で執行委員長をしています佐藤修一です。

2000年4月から清掃事業が東京都から特別区に移管され「清掃事業の将来のあり方」が当局から一方的に出されて以降、支部として検討や見直しを求めています。荒川支部は新規採用のない状況が続いていましたが、荒川区の清掃事業を継続して行うため、2年連続の新規採用職員を獲得することができました。今年度についても若干名ではありますが、新規採用を予定しています。既に職員数は23区で一番少なく60人を切って、毎日が欠員状態で業務をこなしている現状です。あと10年もすると職員数が大幅に激減します。車付雇上は全く減らず、職員は減る一方・

荒川での体制を維持していく為には今後も職員の確保が必要です。引き続き、当局に対しても清掃事業を直営で行う必要性を強く訴えていきたいと思っております。定年まで安心して働ける職場を目指し、何としてでも「清掃事業の将来のあり方」を変えさせることが重要な課題です。

荒川支部、今年も組合員一丸となって課題・問題点を引き続き粘り強い交渉で闘いを進めていきますので、今年もどうぞよろしくお願いします。

荒川支部 執行委員長

佐藤修一



【台東支部】

第二地連の皆さん、新年あけましておめでとうございます。
台東支部書記長の長峰顕史です。

昨年は、第二地連の釣り大会・BBQ大会、そして宿泊学習会に台東支部も数多くの組合員・家族も参加することが出来ました。大変好評で「来年も参加したい」とその話を聞いた組合員が「来年参加したい」と話していました。

2024賃金確定闘争では、全級・全号給、一時金で引上げ勧告となりましたが、中高年齢層においては、物価上昇分にも追いつかない引上げでありました。今後は、大幅な賃上げを獲得する為、更なる取組みの強化をしていくことが、求められています。

2年連続での新規採用を勝ち取り、現在12名の青年部で学習と交流を基軸に様々な取組みを行っています。更に25年にも8名の採用予定があり、支部の中心を担う気持ちがありありと見受けられます。

昨年度より、定年延長が始まり、定年後も後も安心して働ける職場づくりを確立していくことが必要です。

最後に第二地連内全支部が団結し、頑張っていきましょう。
今年もよろしくお祈り致します。

台東支部 書記長

長峰顕史



【文京支部】

第二地連の仲間の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年度はコロナ禍も一定の収束を迎え、様々な場面で日常が戻ってきたと感じる1年でした。地連活動においても宿泊学習会を始め、様々なレク活動を再開した中、改めてみんなで集まって活動することで生まれる連帯感や一体感、楽しさなどを多くの人が感じたのではないのでしょうか。非常に有意義な地連活動に支部として、これからも積極的に取り組みたいと考えておりますので、今年も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、文京支部では暫く開催できていなかった定期大会を年末に文書大会で開催をしました。

新執行体制には多くの若手が選出され、世代交代がなされたと感じているところがあります。これから支部では約1年後に控えた合同庁舎計画、またそれに伴う作業計画の変更などの多くの問題、課題が山積しています。この大きな転換期を良い形で超えられるよう支部一丸となって取り組むためにも一歩一歩確実に歩みを進めて行きたいと考えております。

結びに、今年一年の皆様のご健勝とご多幸、第二地連の益々の発展を祈念いたしました。支部を代表しての年頭の挨拶とさせていただきます。ともに頑張りましょう。

文京支部 委員長

松澤貴広



【北支部】

第二地連の仲間の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

北支部委員長の高栄勝です。

昨年は1月1日に発生した能登半島地震により、多くの方が被災し、追い打ちをかける様に、大雨による水害等、北陸地方に甚大な被害を及ぼしました。私たち、北区でも災害支援として、人員を派遣してきました。復興に向け、いまだ道半ばの現地の方々に一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

職場では令和2年度に5名の新規採用を獲得してから5年連続で33名の新しい仲間が増え、今年度も数名の仲間が増える事が決定しています。新しい仲間が増えた事により職場の雰囲気も変わり、活気のある職場になってきた様に感じます。しかし、残念ながら諸事情により離職してしまう仲間もあり、とても残念に思います。

今後とも直面している課題、労働条件の改善、そして、魅力のある清掃事業にしていくことが課題であり、組合活動についても古き良き伝統の継承と若者が考える柔軟な発想を取り入れつつ、清掃全般が更なる発展に繋がって行くことを願い、本部、地連と連携し、粘り強く取組んで行きたいと思っておりますので、本年も北支部を宜しく願います。

北支部 委員長

高栄 勝

